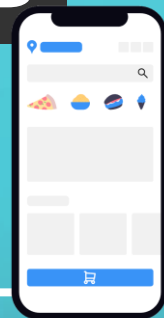


人気の決済アプリUI/UX調査

GooglePlayベストオブ2025に選ばれた
決済アプリ徹底解剖

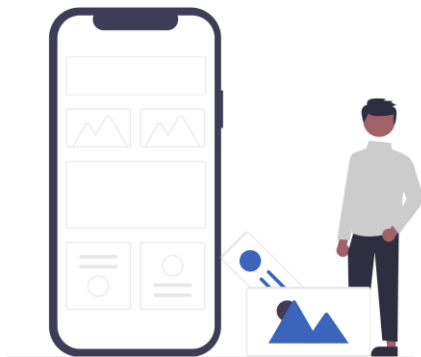


キャッシュレス決済は今や日常生活に広く浸透しています。

なかでも「QR・バーコード決済」は、スマートフォンの普及に伴い日本のキャッシュレス化を牽引してきました。近年では、クレジットカードと連携した、スマートフォンでのタッチ決済も広がっています。

こうした決済アプリにおいて、重要な1つの役割が「ユーザーの利便性向上」、すなわち「ユーザー体験の向上」です。決済アプリは、レジ前という「短時間でストレスのない操作」が求められる環境で利用されるため、そこには店舗アプリのUI/UXを改善するためのエッセンスや、膨大なユーザーフィードバックに基づいた工夫が凝縮されています。

そこで今回、ユーザーに支持されていると考えられるアプリとして、Googleが発表した「Google Play ベスト オブ 2025」において、高い評価を獲得した決済関連の2アプリを対象に調査を実施しました。自社サービスの決済機能導入を検討されている方や、店舗アプリのUX改善に取り組まれている皆さまにとって、本資料が具体的な改善のヒントとなれば幸いです。



01

楽天ペイ

日常お役立ち部門：大賞



アプリ概要

楽天のスマホ決済（バーコード・QRコード決済）アプリ。

楽天ポイントカードや楽天Edy、楽天カードタッチ決済機能も搭載。

Google play ストア情報

ダウンロード数：1000万以上

ストアレビュー：星3.2

レビューコメント例

- ・直感的にわかりやすく使いやすいアプリレイアウト
- ・頻繁にログインを求められて困る、使いたいときにすぐ使えない
- ・QRコード等に被すようにポップアップが出てきて誤タップが生じる



【出典】 Google play ストア

規約同意・ログイン

利用規約への同意やログインは一般的なものとほぼ同じ構成です。
自動的にメールマガジンの同意が取れるようにしているところは、楽天市場等のサービスを踏襲しています。



チュートリアル

使い方のチュートリアルはポップアップメッセージ+1画面のみとシンプルな構成。
アプリ上の画面では、基本機能と使える場所についての簡単な訴求のみを表示しています。



ポップアップメッセージを閉じるとシンプルなチュートリアルが表示される。

ボタンタップで、外部ブラウザ起動。詳細ページに遷移する。



メインの決済機能とポイントカード機能、使える場所を伝えている。

ホーム画面

コード決済画面のほか、送金、ポイントカード、チャージの4つの切り替えアイコンが画面上部に並んでいます。他のQRコード決済系のアプリと違い、ファーストビューにクーポン等のアイコンを入れずシンプルな構成です。



アイコンタップ、またはスワイプで画面切り替え。

メインのQRコードを画面中央に配置。



ホーム画面（決済画面）とポイントカード画面のみ、クーポンやキャンペーン情報を表示。



上にスワイプすると、キャンペーン情報が出てくる。このビュー内に収まり、画面スクロールしない。

利用方法の説明

利用方法の説明などは既存のWebページを活用。
多くの画面がWebViewで呼び出されるようになっています。

楽天ペイ



楽天ポイントカード



ポイント還元率



その他画面

右上のアイコンからSuicaとの連携も可能です。

お知らせ一覧画面には広告枠も用意されており、リテールメディアのような活用も見受けられます。

Suicaとの連携が可能。通常のチャージに加え、ポイントチャージもできる。

楽天キャッシュの画面を呼び出せる。送金やチャージなど。

カテゴリを細かくわけている。重要なお知らせを見落としにくい。

お知らせ一覧画面の下部にはキャンペーンや広告等のバナーを表示。

その他画面

その他、ハンバーガーメニューに各種リンクを配置。

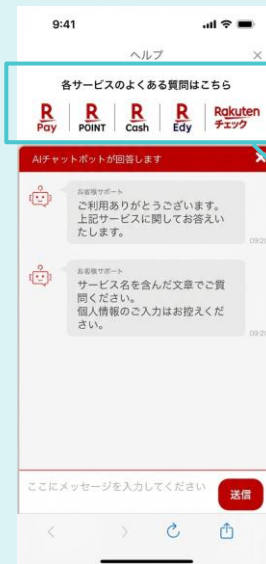
マップでの利用可能店舗の検索や、AIチャットボットによるお問い合わせ対応など。



サービスごとに
リンク先が異なるものはタップ
で開くようになっている。



位置情報の利用
を許可すると、
現在地が表示さ
れる。



サービスごとの
よくある質問へ
遷移できる。

特徴まとめ

シンプルな チュートリアル

4つの機能やクーポン、ポイントを貯める機能など、様々な機能が用意されている中で、チュートリアルを極限まで絞っているのが特徴的です。詳細に知りたい場合には、ポップアップメッセージやハンバーガーメニューから使用方法を確認できるため、ユーザーに選択権が委ねられています。

他の決済アプリとの違い

他の決済アプリとの大きな違いは、ホーム画面。一般的には画面下部にクーポンやポイント運用など、様々な機能への動線となるアイコンが表示されているが、楽天ペイアプリは決済のみのシンプルな形になっている。QRコードが画面中央にあることで、プッシュ通知などを受信した際にコードと通知が被ってしまうこともなさそうです。

AIによる ユーザー体験向上

疑問点の解消には、よくある質問だけでなくAIチャットボットも用意しており、テクノロジーを取り入れてユーザー体験の向上に寄与しているのではと考えられます。

02

ジハンビ°

注目トレンド部門



アプリ概要

サントリーの自販機キャッシュレスアプリ。

アプリを起動して対応する自販機にピッとかざすだけで購入ができます。

Google play ストア情報

ダウンロード数：100万以上

ストアレビュー：星4.7

レビューコメント例

- ・タッチただけで支払えるので便利（動作が軽い）
- ・シンプルでわかりやすく使いやすい
- ・現金でも使える、歩いてスタンプをもらえるなどの機能もあると嬉しい



【出典】 Google play ストア

規約同意・チュートリアル

利用規約等の同意で1画面、使い方1画面、合わせて2画面のチュートリアルです。
使い方がシンプルなため、説明もシンプルになっています。



ボタンタップでホーム画面へ遷移。

ホーム画面

自動販売機での決済のみに絞っており、シンプルな画面構成です。
支払いに特化することで、支払い時の操作を減らしています。



支払い方法登録前

タップできる要素は、支払い方法の連携ボタン、使い方説明のリンク、ハンバーガーメニューのみ。

支払いボタンはグレーアウト。タップ不可。

支払い方法登録後

決済方法の登録後は、登録した内容を表示。

支払いボタンが有効化。タップ可能に。

アプリ起動時

アプリを起動すると、すぐに支払いできる状態に。アプリ操作不要で、クレジットカードのタッチ決済と同じような利用体験。

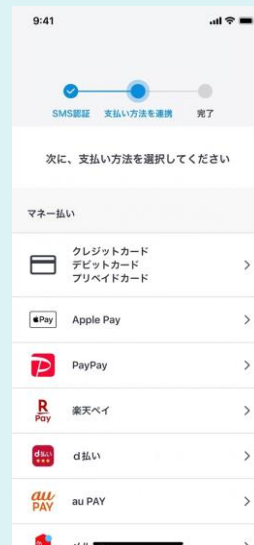
支払いにすむ

支払いにすむ

キャンセル

決済・ポイント連携

メリット訴求にプラスして、60秒、3ステップと簡単に登録が完了することを訴求しています。
登録中には、今どのステップにいるのかが常に画面上に表示され、終わりが見えやすい配慮がされています。



チュートリアル2

決済方法の登録後、特典プレゼントと、使い方がポップアップメッセージで表示されます。
利用に近いタイミングでチュートリアルが出るため、使い方に迷いにくい動線になっています。



実質的な使い方説明は
この1画面のみ。

ポイント・支払い方法の変更

ハンバーガーメニューやホーム画面から決済方法や連携ポイントの変更が可能です。



ハンバーガーメニューから、ポイントや支払い方法の変更、連携解除が可能。



ホーム画面からも支払い方法等の変更が可能。



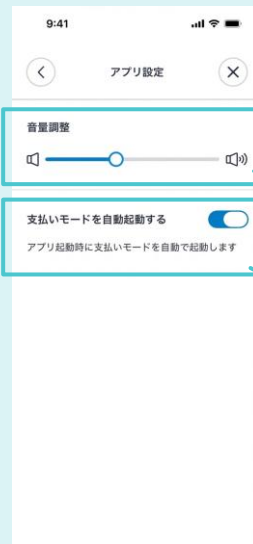
その他画面

ハンバーガーメニューから、使い方の確認や各種設定の変更が可能です。

楽天Payと同じように、利用できる自動販売機をマップ上で探すことができるようになっています。



利用方法の説明ページは、すべて画像を多用したリッチな仕様。



決済時の音量調整が可能。

アプリ起動時に支払いモードになるかどうかの設定。ユーザーコメントに「自動起動は困る」という記載があり、機能追加されたか？



位置情報の利用を許可すると、現在地が表示される

特徴まとめ

機能特化でシンプル

支払いと支払い時にポイントが貯まるのみに機能を絞っているため、UIがシンプルです。そのため、使い方の説明もほぼ不要になり、チュートリアルも最低限のもののみ実装されています。

他の自販機アプリとの違い

他の自販機アプリとして有名なCoke ONでは、キャンペーン情報や歩数カウント、スタンプなど、メディアとしての機能とアプリの利用を促す機能が搭載されており、対極のようなシンプルさになっています。そのため、追加機能の要望コメントも見られますが、使いやすいというコメントが圧倒的に多い印象です。

徹底した ユーザー体験向上の仕組み

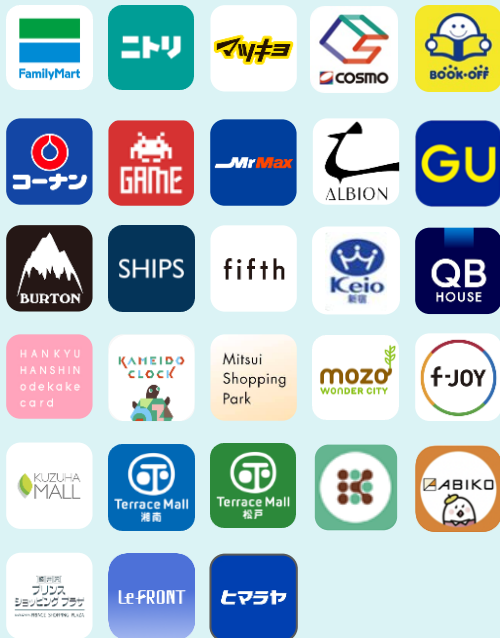
アプリを起動するとすぐに決済ができる状態になっており、アプリの操作が不要です。ユーザーの目的達成のための操作を極限まで削りスマートな体験を実現しています。また、豊富な決済方法、登録時のステップ表示、必要なタイミングでのチュートリアル表示、初回起動時の画面に規約等の同意を入れるなど、ユーザーの手間を減らし、利用しやすくするための設計が随所に見られます。

03

アイリッジグループのご紹介

アプリ導入実績

小売



金融

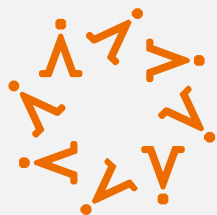


電鉄・その他



300超の
アプリ開発・マーケティング実績

アイリッジグループについて



iRidge

- アプリ開発
- 保守運用
- マーケティングツール提供
- サービスグロース



オフラインとオンラインの利点を活かしたセールスプロモーションを提供



業務システムの構築を主たる事業とした開発会社



アイリッジと博報堂のJV
デジタル生活接点/体験の変革に向け、顧客体験戦略から開発まで一貫通貫で支援

アイリッジの強み

アプリ領域のトータルサポートはもちろん、コミュニケーションデザインを含めた統合マーケティング支援が可能です。

アプリ領域のトータルサポート

企画



- 全体戦略
- 企画/RFP作成支援
- マーケティング設計
- UI/UXデザイン

開発



- プロダクト開発
- アプリ開発
- LINEミニアプリ開発
- PWA開発

運用



- アプリ成長支援
- プロモーション支援
- UI/UX改善
- データ分析

統合マーケティング支援（戦略から実行まで）

戦略策定



- 全体戦略策定
- アプリ戦略策定・コンセプト (UX調査含む)
- デジタル戦略策定
- コンセプトワーク
- プラン策定
- 全体KPI策定
- 全体目標設定

企画/要件定義



- 全体戦略
- アプリ戦略策定・コンセプト (UX調査含む)
- プラン策定・アプリKPI策定・目標設定など
- 現状分析 (ユーザー理解)
- UXリサーチ (定性/定量)
- 競合分析 (AsIs/ToBe)
- データ分析
- ペイン・デザイン抽出
- ヘルツァ設定
- 立上げ支援 (コンセプト検証)
- アイデア抽出
- プロトタイプモックアップ
- ユーザーテスト

開発期



- アプリ設計
- マーケティング設計
- KPIツリー策定
- ユーザーストーリー
- イベント設計
- シナリオ設計
- セグメント設計
- 制作
- LP制作
- HP制作
- 動画制作
- ロゴ制作
- オフライン制作

運用期



- マーケティング支援
- コンテンツマーケティング
- ASO
- SNS
- SEO
- PDCA支援
- データ分析
- CRM支援
- CDP/仕構築
- UI/UX改善
- アプリ広告運用
- Web広告運用
- マーケティング支援
- 店舗POP
- チラシ・ポスター
- オフライン (店間) イベント
- インナー支援
- 社内従業員デジタル育成支援

アイリッジの強み（アプリ領域のトータルサポート）

アイリッジは、アプリを導入・運用される事業者様のビジネスパートナーです。アプリ開発だけでなく、企画段階からの支援、アプリ導入後のアプリ活用支援、プロモーションをトータルサポートします。

企画



全体戦略



企画/RFP
作成支援



マーケティング設計



UI/UX
デザイン



開発



プロダクト
開発



アプリ開発



LINEミニ
アプリ開発



PWA開発



運用



アプリ
成長支援



プロモーション支援



UI/UX改善



データ分析



統合マーケティング戦略支援

デュアルファネルの全体戦略からコミュニケーションデザインの課題抽出や解決手段の実行まで提供可能。



ディスプレイ広告



販促支援



SNS活用



WEBサイト運用



デザイン

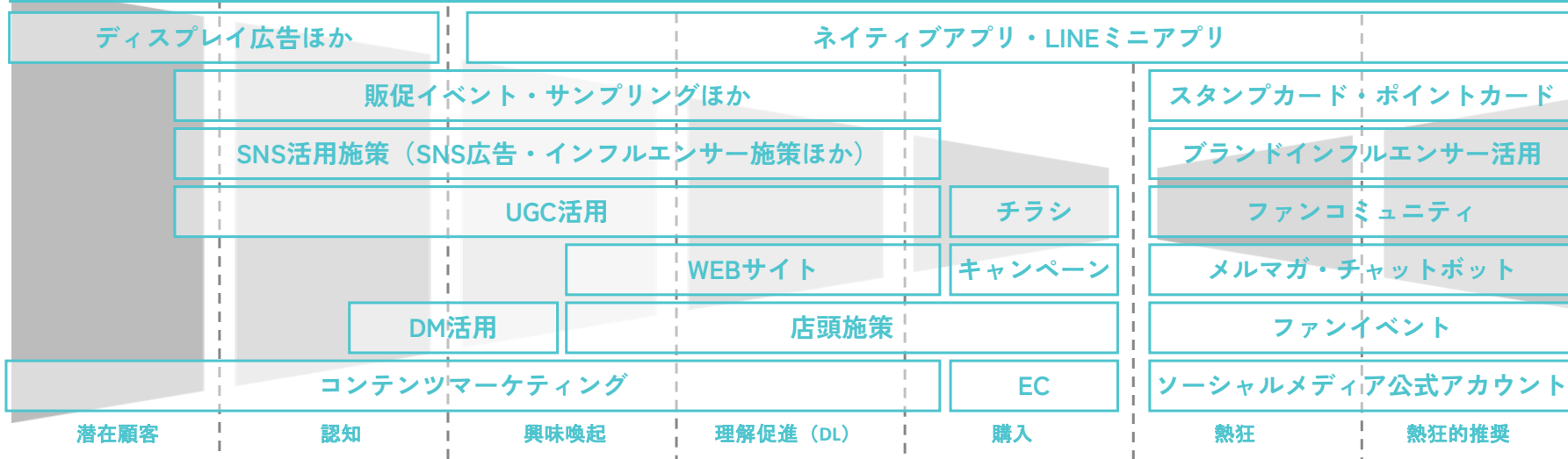


イベント支援



動画制作

お客様課題に基づく統合マーケティング全体戦略策定



お問い合わせはこちら



dep-mk@iridge.jp



03-6441-2325

お問い合わせフォーム

https://iridge.jp/contact/contact_appdev/

